



**2025年2月期
通期決算説明資料**

2025年4月14日

株式会社ツインバード 証券コード：6897

2025年2月期 通期決算 ハイライト

消費行動の多様化により新生活の物販が低調、病院用冷蔵庫の期末案件が獲得できず、売上高は下期 対前年同期比増収も通期は減収 売上高の減収に加えて、冷蔵庫や洗濯機などの在庫が増加して物流費が当初予算を超過したため、営業利益は前期比減益 政策保有株式売却による投資有価証券売却益115百万円、繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額(損)204百万円を計上

売上高

100億円

(前期比 Δ 2.4%)

当期純利益

Δ **1.0億円**

(前期比 Δ 2.1億円)

売上総利益率

29.5%

(前期比 Δ 3.4pt)

家電製品事業
セグメント利益*

6.4億円

(前期比 Δ 22.5%)

営業利益

0.04億円

(前期比 Δ 96.4%)

FPSC※事業
セグメント利益*

1.2億円

(前期比 Δ 26.5%)

経常利益

0.4億円

(前期比 Δ 74.8%)

ROE
自己資本当期純利益率

Δ **1.3%**

(前期比 Δ 2.6pt)

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用 7.6億円）を除外

目次

1. 2025年2月期 通期決算概要
2. 2026年2月期 通期業績予想
3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2025年2月期 通期決算概要
2. 2026年2月期 通期業績予想
3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

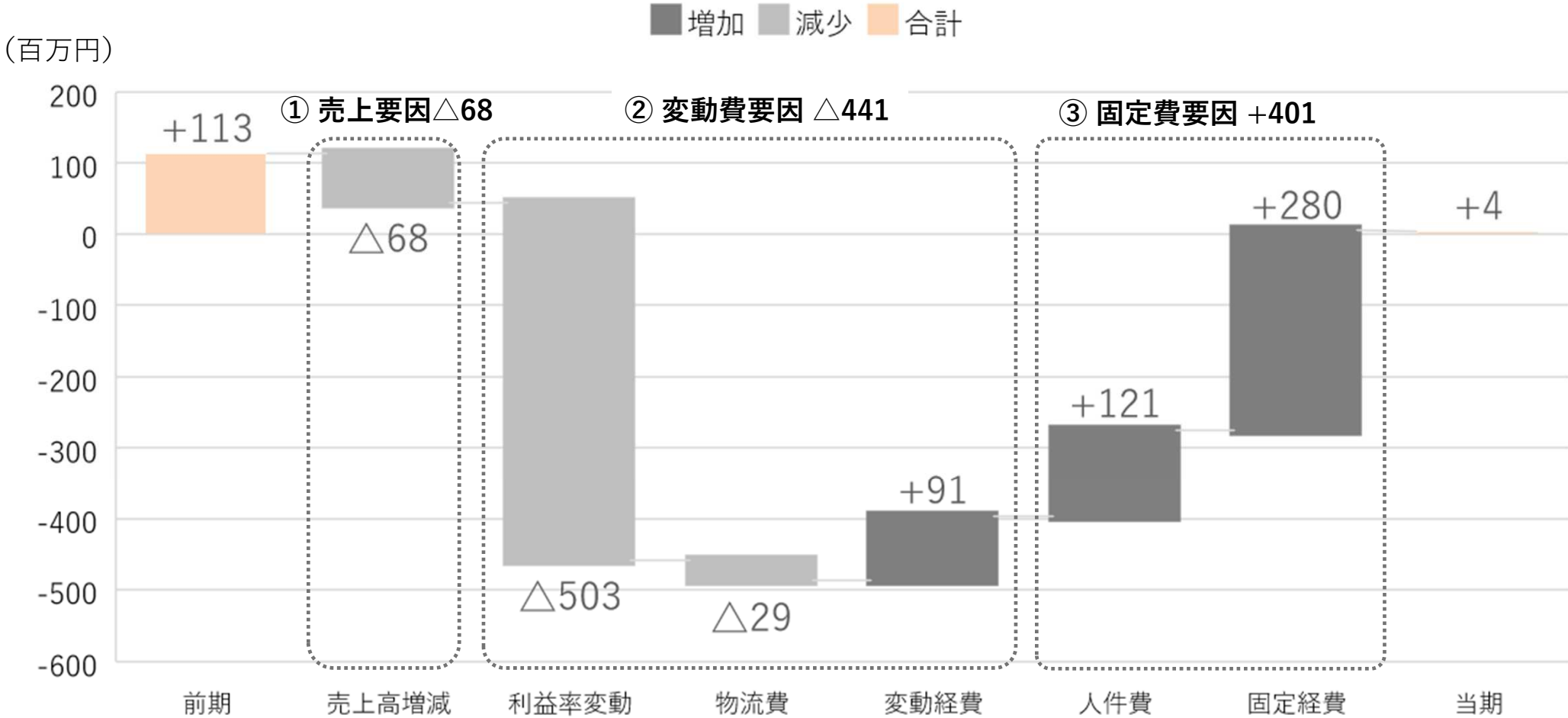
補足資料：四半期別業績数値

2025年2月期 通期決算 損益概況

単位：百万円	2024年度	2023年度		(参考)
	通期 実績	通期 実績	前期比 差額 増減率	2024年度 通期 業績予想
売上高	10,060	10,303	△242 -2.4%	10,500
売上総利益	2,964	3,384	△420 -12.4%	
売上高比	29.5%	32.9%	-3.4pt	
販売費及び一般管理費	2,960	3,270	△310 -9.5%	
売上高比	29.4%	31.7%	-2.3pt	
営業利益	4	113	△109 -96.4%	200
売上高比	0.0%	1.1%	-1.1pt	1.9%
経常利益	42	166	△124 -74.8%	180
当期純利益	△102	108	△210 -	130

※通期業績予想は2024年4月12日公表数値

2025年2月期 営業利益：前期比増減の要因分析



2025年2月期 セグメント別業績概況

- 家電製品事業は、大型OEM製品の出荷が前期完了により前期比減収 一方、新製品導入により好調な調理家電や、インバウンド需要に対応したホテル向け製品、病院向け業務用冷蔵庫などの売上が増加 為替相場の円安進行による物価高騰や家電市場の競争激化の中、原価低減の推進、販売費及び一般管理費の抑制を進めたが、セグメント利益は前期比減益
- FPSC事業は、冷凍機単体を供給する海外大手取引先の在庫調整による出荷減少に加え、ワクチン運搬庫のメンテナンス（リフレッシュサービス）需要が一巡したため、前期より減収減益

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2024年度 実績	2023年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率	2024年度 実績	2023年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率
家電製品事業 売上高比	9,637	9,670	△33	△0.3%	648	836	△187	△22.5%
					6.7%	8.6%	-1.9pt	
FPSC事業 売上高比	423	632	△209	△33.1%	121	165	△43	△26.5%
					28.7%	26.1%	+2.5pt	
調整額					△765	△887	121	
全社 計 売上高比	10,060	10,303	△242	△2.4%	4	113	△109	△96.4%
					0.0%	1.1%	-1.1pt	

2025年2月期 販売チャネル別 売上高の推移

販売チャネル別 売上高



(百万円)

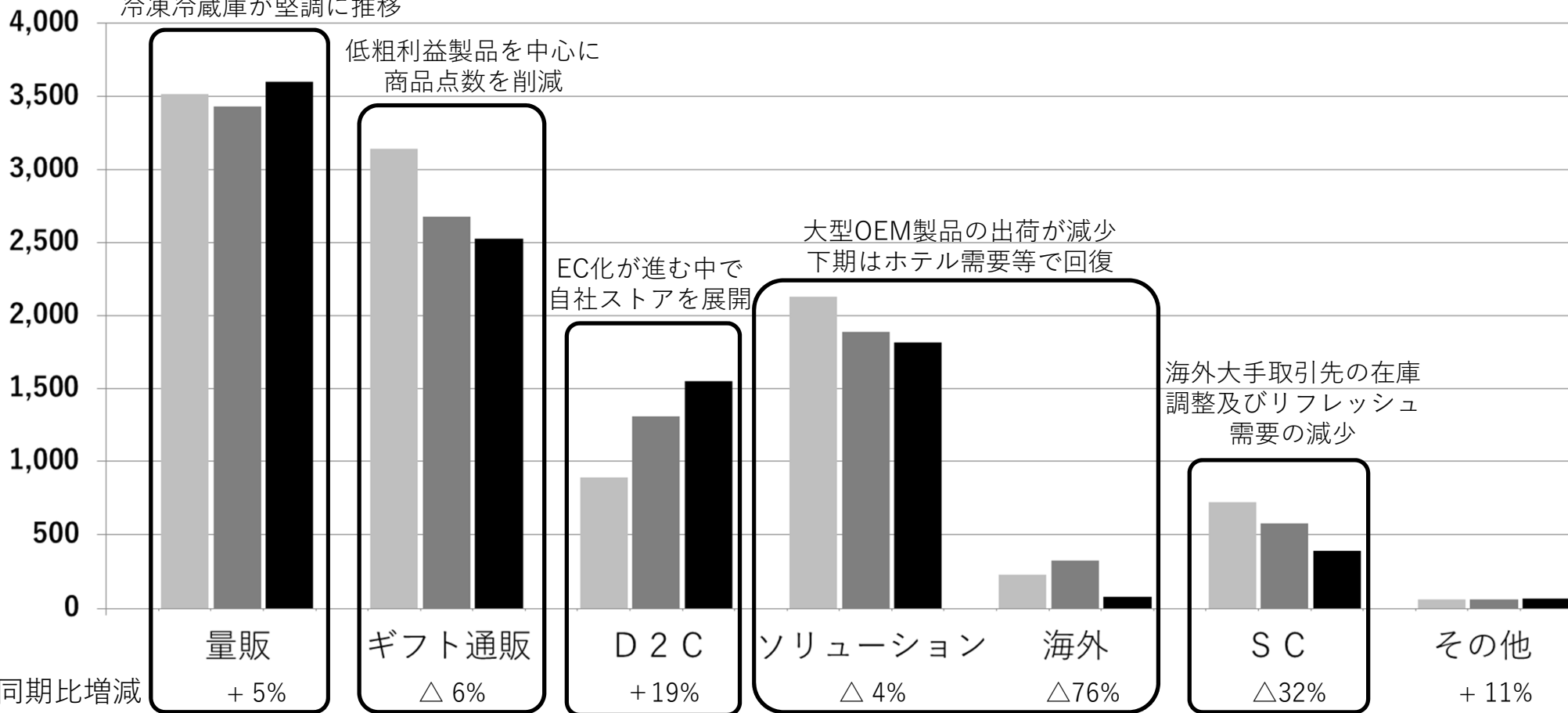
ラインナップを拡充した
冷凍冷蔵庫が堅調に推移

低粗利益製品を中心に
商品点数を削減

EC化が進む中で
自社ストアを展開

大型OEM製品の出荷が減少
下期はホテル需要等で回復

海外大手取引先の在庫
調整及びリフレッシュ
需要の減少

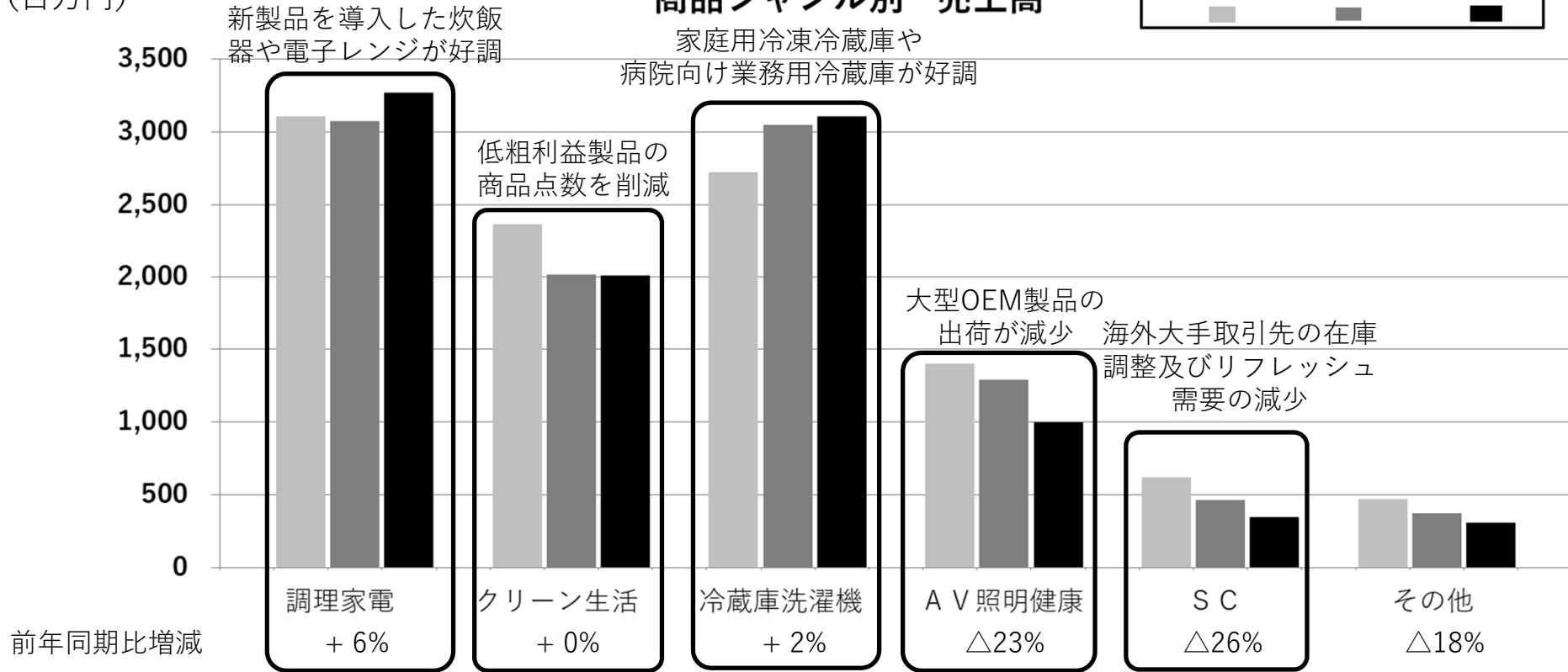


前年同期比増減

2025年2月期 商品ジャンル別 売上高の推移

(百万円)

商品ジャンル別 売上高



全自動
コーヒー
メーカー
CM-D465B



匠ブランジェ
トースター
TS-D486W



ドック吸引式コードレス
スティック型クリーナー
TC-E292W



中身が見える
冷蔵庫
HR-EI35B

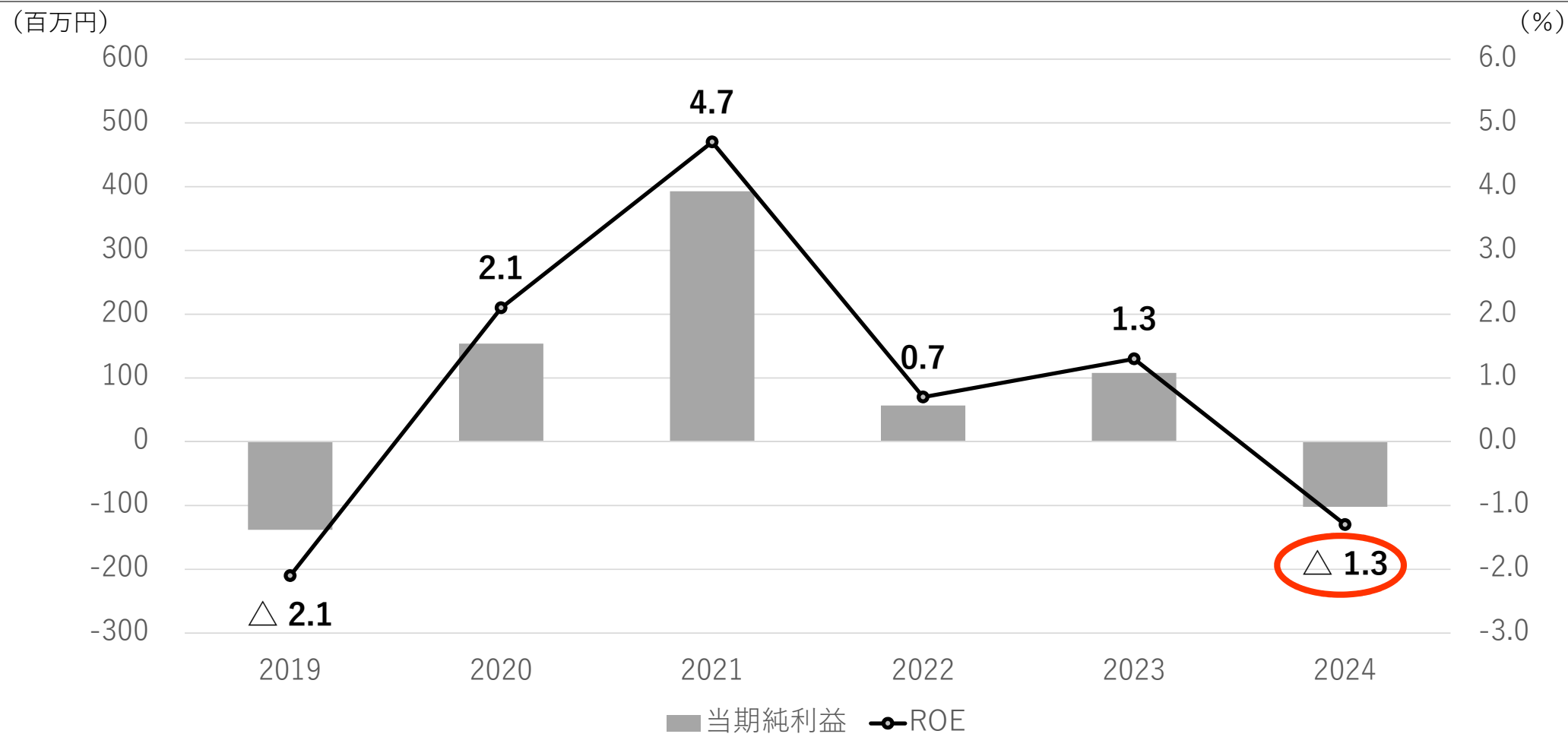


スターリング
冷凍機
SC-UE15R

2025年2月期末 貸借対照表

単位：百万円	2024年度			2023年度			
	期末	前期末	増減	期末	前期末	増減	
現預金	610	871	△260	仕入債務	189	318	△129
売上債権	1,944	1,942	2	短期借入金	1,500	700	800
棚卸資産	3,122	3,021	100	長期借入金	460	690	△230
その他	370	494	△123	その他	937	1,314	△377
流動資産 計	6,048	6,330	△281	負債 合計	3,086	3,023	62
有形固定資産	3,572	3,651	△79	資本金・資本剰余金	5,149	5,143	5
無形固定資産	676	494	182	利益剰余金	2,648	2,893	△244
投資その他資産	530	737	△206	その他	△56	152	△208
固定資産 計	4,780	4,883	△102	純資産合計	7,742	8,189	△446
資産 合計	10,829	11,213	△383	負債 & 純資産合計	10,829	11,213	△383
				自己資本比率	71.5%	73.0%	△1.5pt

ROE（自己資本当期純利益率）の推移



2025年2月期 キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024年度	2023年度	増減		2024年度	2023年度	増減
税引前当期純利益	112	120	△7	短期借入金の増減額	800	300	500
減価償却費	360	423	△62	長期借入金の増減額	△230	△230	—
売上債権の増減額	△2	243	△246	リース債務の返済額	△61	△83	22
棚卸資産の増減額	△100	△459	359	配当額の支払額	△142	△140	△1
仕入債務の増減額	△130	86	△216	その他	△0	△9	9
その他	△452	50	△502	財務CF	365	△164	529
営業CF	△213	463	△676	フリーキャッシュフロー*	△605	170	△775
固定資産の取得による支出	△520	△326	△193	現金等の換算差額	△0	3	△3
固定資産の売却による収入	6	0	6	現金等の増加額	△239	9	△249
投資有価証券の売買額	96	28	68	現金等の期首残高	495	485	9
その他	25	5	20	現金等の期末残高	255	495	△239
投資CF	△391	△293	△98				

目次

1. 2025年2月期 通期決算概要
2. 2026年2月期 通期業績予想
3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年2月期 通期業績予想

- 家電製品事業は、「匠プレミアム」「感動シンプル」のブランドラインを軸にお客様起点での製品ラインナップ拡充を継続
一方、安定した収益が見込める販売チャネルに向けた新製品開発に注力 PB製品やOEMの受注及び新規顧客の開拓を推進
バリューチェーンの連携強化による新製品開発の効率アップを図り、前期比倍増の新製品を投入し売上拡大を図る
家電製品は2025年3月1日より出荷価格を従来価格の約10%以上に順次改定し円安やエネルギー資源価格高騰の影響を抑制
新潟県燕三条地域のものづくり資源も活用し国内製造比率50%を目指すとともに、さらなる品質向上及び原価低減を推進
サプライチェーンマネジメント基幹システムによる自動化・省力化を推進し、ローコストオペレーションを図る
- FPSC事業は、年+9.6%成長*のバイオ医薬品市場における搬送・保管には、ドライアイスの使用に取って代わる厳密な温度
管理（冷凍-20~-40℃ 極冷凍-70~-85℃）のコールドチェーン構築が不可欠 FPSCの独自技術がグローバル市場でも高く
評価され、燃油計測機や校正器などの分野において、欧米を中心に複数の企業と契約へ向け開発着手
世界保健機関（WHO）が定める医療機材品質認証（PQS：Performance, Quality and Safety）を2024年10月に取得
各国で医療機材を選定する際の基準となるWHOのPQSカタログに掲載 ワクチン運搬庫の国内及び海外販売活動を強化

単位：百万円	2025年度	2024年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	増減率
売上高	10,500	10,060	439	4.4%
営業利益	150	4	145	-
売上高比	1.4%	0.0%	1.4pt	
経常利益	120	42	77	185.4%
当期純利益	100	△102	202	-

*出典：EvaluatePharma, Worldwide Prescription Drug & OTC Sales by Technology (2012-2026)

目次

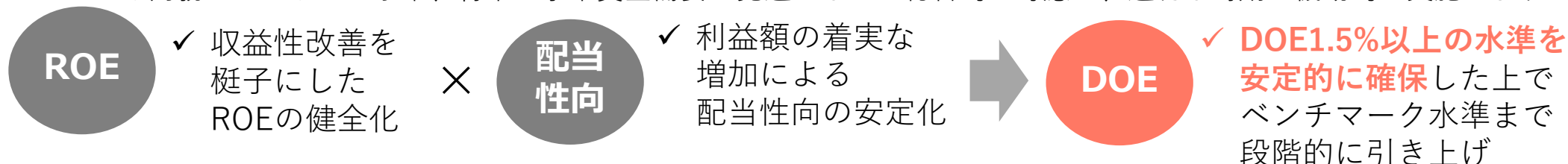
1. 2025年2月期 通期決算概要
2. 2026年2月期 通期業績予想
3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2025年2月期 期末配当

【当社株主還元政策の基本的考え方】

- 当社は企業価値の向上により、株主価値を高めることを経営の重要課題と認識しております。業績を向上させ財務体質の強化を図ることで、安定的かつ持続可能な株主還元（配当・自己株式取得）をおこなうことを基本方針としています
- 配当については、DOE1.5%以上の水準を安定的に確保し、段階的に引き上げることを目指しております
- 一方、自己株式の取得については、資本効率向上などを目的として、経営環境、業績動向、並びにフリー・キャッシュ・フローや財務レバレッジの水準、将来の事業資金需要の見通しなどを総合的に考慮し、適切な時期に機動的に実施します

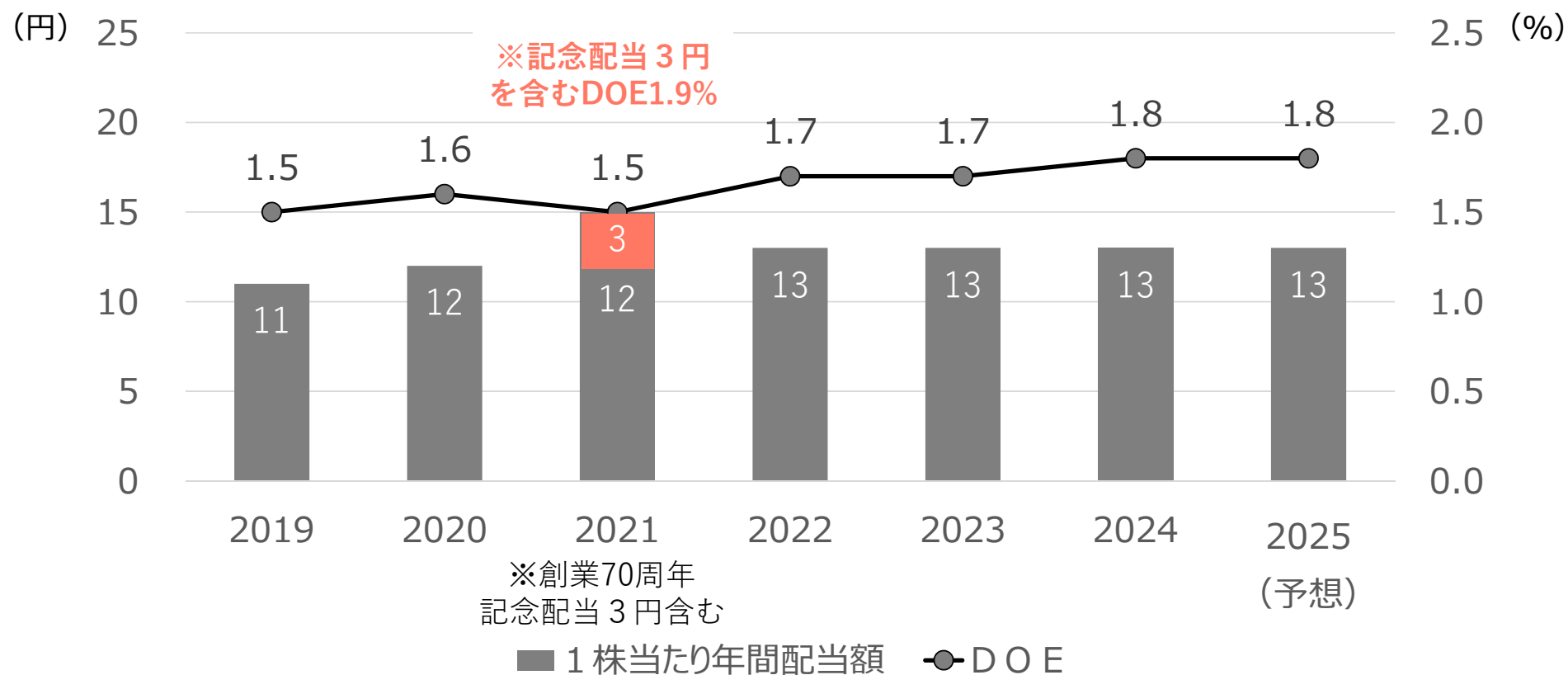


第63期（2024年3月1日～2025年2月28日） 期末配当

1. 期末配当金 当社普通株式1株当たり10円
 2. 支払総額 109,062,160円（株式数10,906,216株×10円）
 3. 配当の効力が生じる日 2025年5月28日
- （参考）中間配当1株当たり3円を加え、年間配当は1株当たり13円

1株当たり年間配当額、純資産配当率（DOE）

当期（2024年度）期末配当は1株当たり10円 年間配当は13円（DOE 1.8%）を予定
 次期（2025年度）年間配当は1株当たり13円（中間3円、期末10円）DOEは1.8%を予想



目次

1. 2025年2月期 通期決算概要
2. 2026年2月期 通期業績予想
3. 2025年2月期 期末配当
2026年2月期 年間配当予想

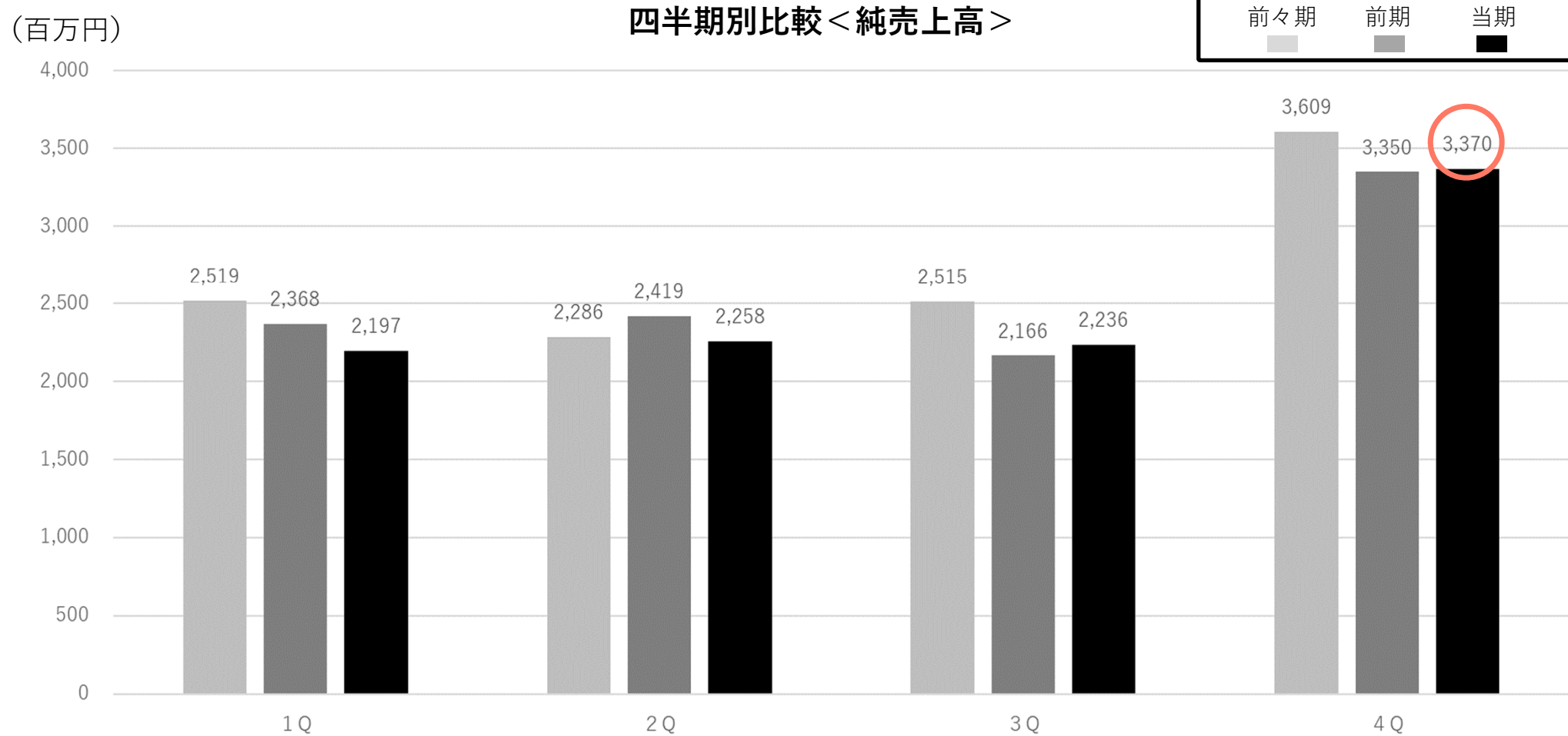
補足資料：四半期別業績数値

第4四半期（3ヶ月） 損益計算書

単位：百万円	2024年度	2023年度		
	4 Q 実績	4 Q 実績	前年同期比 差額	増減率
売上高	3,370	3,350	19	0.6%
売上総利益	1,102	1,187	△84	-7.2%
売上高比	32.7%	35.4%	-2.7pt	
販売費及び一般管理費	699	778	△78	-10.1%
売上高比	20.8%	23.2%	-2.5pt	
営業利益	402	409	△6	-1.6%
売上高比	11.9%	12.2%	-0.3pt	
経常利益	389	416	△26	-6.4%
四半期純利益	105	291	△185	-63.7%

四半期別業績数値 純売上高

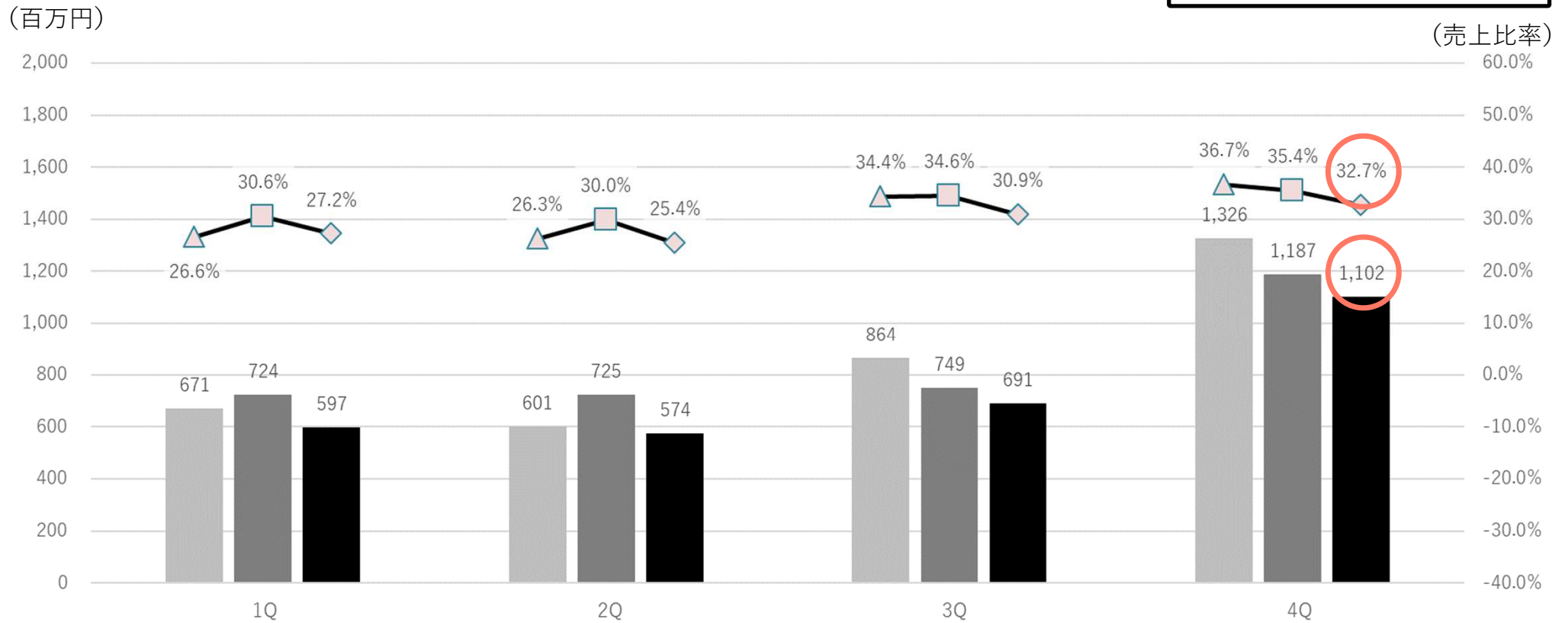
※前々期：連結 前期&当期：個別



四半期別業績数値 売上総利益

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<売上総利益>



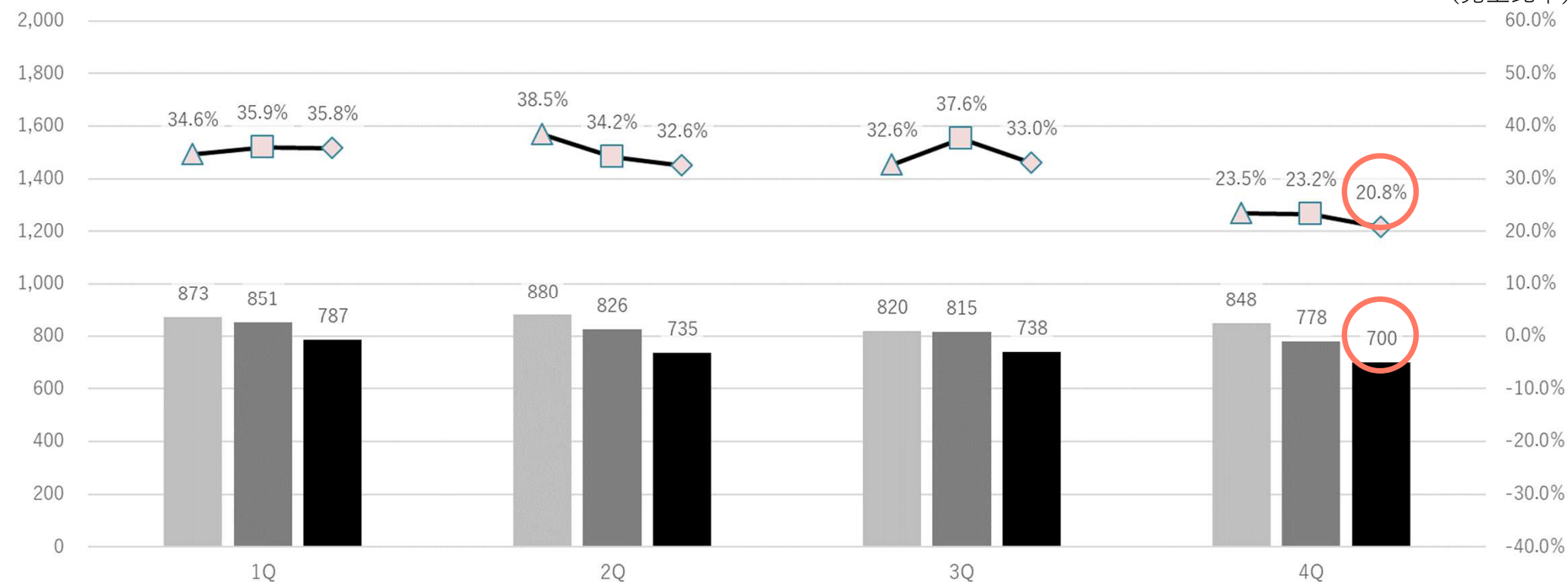
四半期別業績数値 販売費及び一般管理費

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<販売費及び一般管理費>



(百万円)



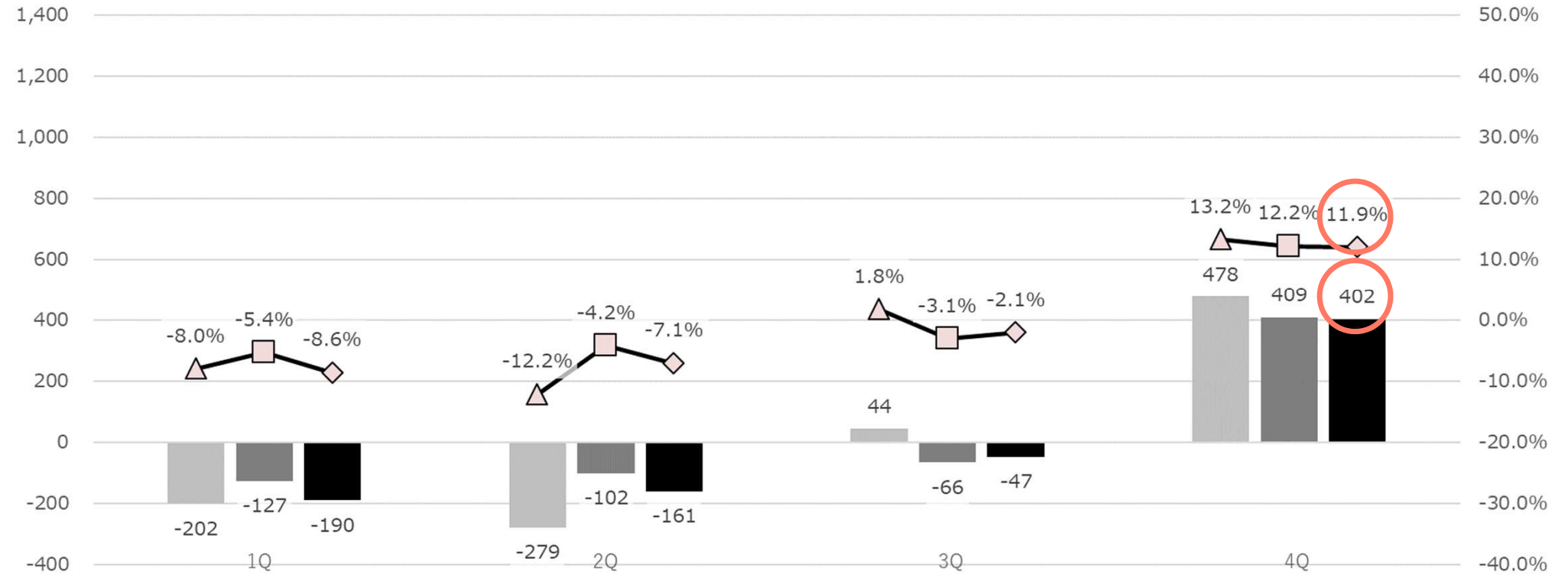
四半期別業績数値 営業利益

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<営業利益>



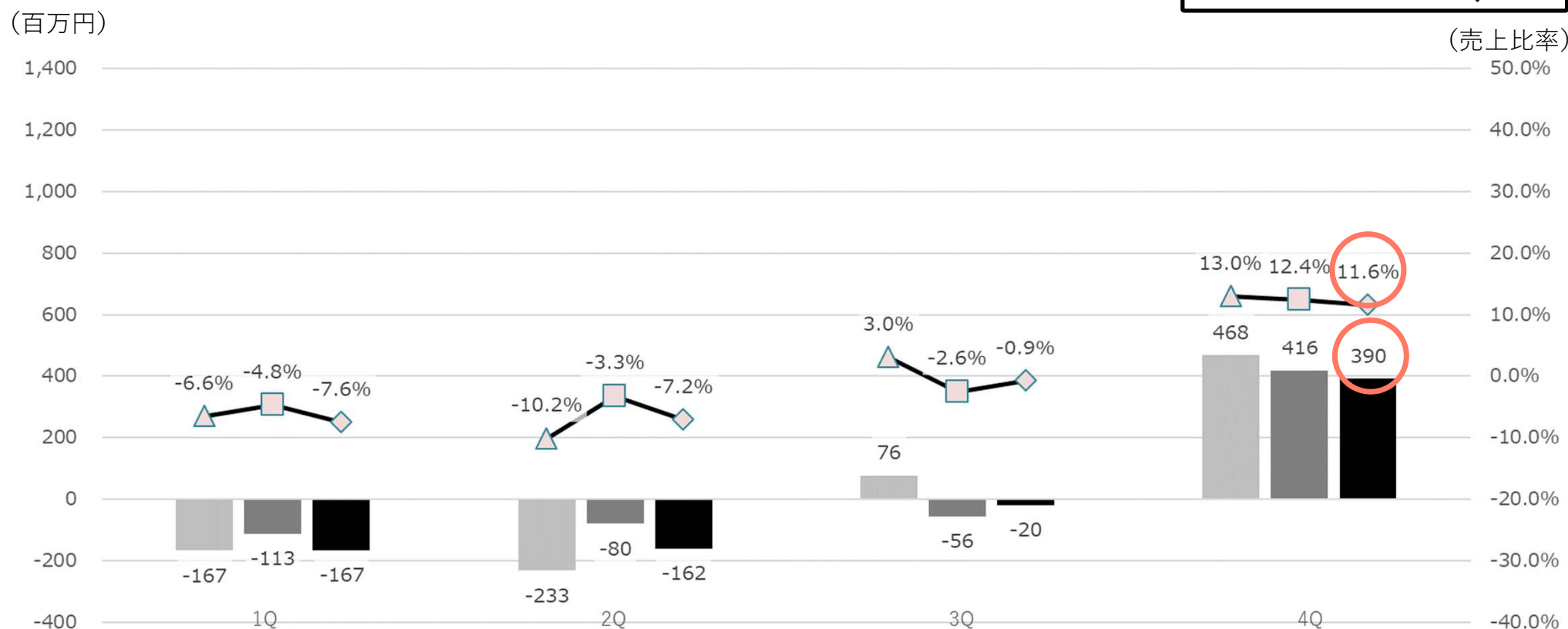
(百万円)



四半期別業績数値 経常利益

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<経常利益>



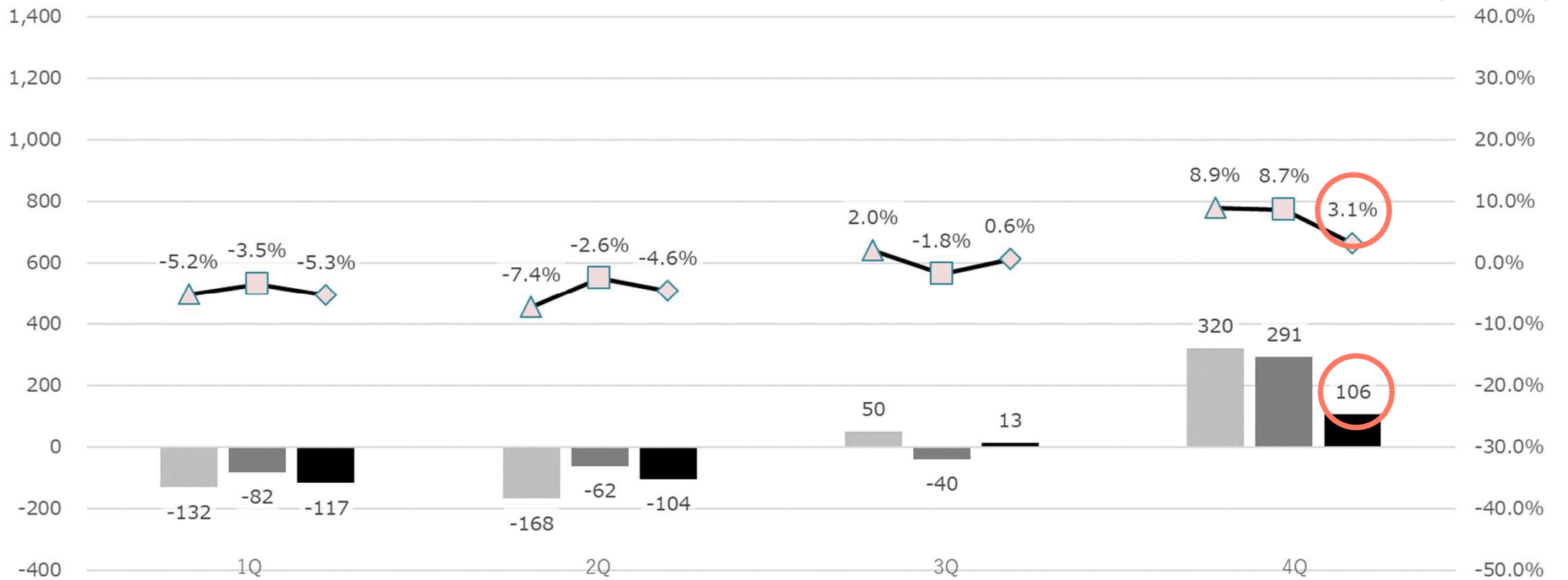
四半期別業績数値 四半期純利益

※前々期：連結 前期&当期：個別

四半期別比較<四半期純利益>



(百万円)





TWINBIRD

IR・決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。